# 州間の要衝







光立つて建設した更

敷地十七萬坪である 英間に政府の補助金 の米子飛行番は米子

提井技術部長以下が

愛である 下惑信名で進められ

¥₹大阪 田 遊 商





潮五郎

作

さいおき

(48)

太郎繪

したためであらうか。

っにすくと機疾して 戸ッ子達も、手器一つ その仁王様のやうた臓

・小牌を供に連れたさ

その時だつた。

o#

迎へ、見念る

中を微かに数を赤らめ 稽注、人々の眠をさば

昆明遷都要望

を構らしたが、その間

エフキロッ

予るツリリ

から限み易いのが特長です。用せられて居ります。それに水栗です

人波を分けて、もう 例の赤子のそうた要様 さい思いできずんでい つて、にたりと実立と から続くこんと技術に 來かしつた遊び人盤の

殿で野村少將表明す

飛行場

出、東京新京間を四時間 日本直通航空路内地側の として一昨年本以来工 このた島東縣米子派行物 成本る十四日被工式 開連絡空の港 一匙は、良く夜中の強作を防ぎます。 さい。早ければ早いほどこれ等



ものと考へ、早期に手當して下めたら危險信號が揚げられた するものです。小鬼がせきを始にせよ、百日咳がコヂれて併養 肺炎にせよ、氣管支炎、肺結核

生してゐる。 海の





用せられます。グアヤコールとコディ鉄橋なせきが順張する場合に好んで賞 るも習慣性とならないのが特長です。 便秘などの智繇を作らず、長く連用する麒៍戦闘をチミッシンに加へたもので ンと何れも呼吸中樞を鐵龍する作用る

C

一班〇瓦…一円八十銭

チョッション

のだの)

るでうに行く足里な歩 合単に呼ばけったの 飛び上つた。 てゐたが、突然、あ に、兵衛は男の見事

の餘病併發を選ざけます。

戦に京始があるだけでなく、福道を頼くして最も育名なもので、あの症態性の政 チャッシンは水くから百日頃の内服薬と

且つ治が、日歌を規称するとで廣く用ひら は、一句歌を規称するとで廣く用ひら ならないのが特長です。糠る前に取べるで約翰な別覧に長く額けて爽へても街に れてめます。厳楽類を含有して居ないの





町高も十三米迄

煉瓦建築を奬勵

周年に

八日午前二時中ごろ京都近世川郡一振つた穴のやらに見せかけて一穴

不發マイト爆發、工事場の棒事

の頂金いくらかにありつからと欲

同僚四名も卷添へに

### イナマイトを取出し、自分が一個活を出した のあることを知つて、その不 盗難の尊德翁銅像 **四漢字(で)が不潑ダイナマ** るると翻然たる音響と共に概義・なると翻然たる音響と共に概義・ 鼬はその場で即死、他に四名の 重

「修理したい」

一躍る悪質の泥構のため京城市大 成報) —金屬製の優裕昻騰の階

か冊分ばかりの間に困つたこと

対後頭部に全治十月間の

市計令規則に大改正

と手の本をもお取られて遊り去ら 製の的となってるた核態の二

小賣豆城水町

れ、彼人もまだ連捕されず同校で は先生も生徒もがつかりしてふる

**豊曹谿寺裏山**に

さいべりあ丸

中で投身自殺

日本海の

入日午前九時頃京城鎮里町五三李

中のさいべりあれからとし条件板。中のためどうするか親らたいが、「も顕著と剣り引載さ一郎二様と野一段のは能能的」教具から清晰へ続行。関したもので同主は且下内地落行。」など記録器に近い独行をやつてあ 通行人を無理に引つ張り込んでは「名、韓勤数三千六百六十二 別事」万皇 「こう」 協議を賭けさせては場場地走する 大通りで丸一緒時間銀中を紅路署

路上賭博團 辻强盗その儘の一

してある 射撃成績 ら行けな施山龍山署の 八日午前八時か

味

漢江へ投身

信號を無視

源して四丁月道に曲つた際、 野町海田町の巡査平費氏が聞い **基地自動車林力度がトラックを** 午前八時半ごろ京城鎮路五丁 | 市町一九紙ノ方館左衛門氏(で) **亂暴トラツク大破 消きつけ米で鹽を買ひ與へて**ふ

學者在源日物語に一個の孩子

たまなしし

花柳小南の花柳情治

春雨郵便

日治多春川城作

級友と寫生中 危く免る

際安民語會は七日午後五時半から

林を変通返皮として果大門客へ

人には被害はなかつた。運転

世井小路段へ続けつけて居け受持

生け直ちに生徒と一緒に櫻井町二 の池上先生に報告びつくりした光

経直子さんの背後から三十歳位一野ごうこをして遊んでるた同概生

所駆命に開跋を描いているとしで、これも曹野寺のお庭附近で取

の寫生に出かけ松林の丘の上一覧で「人駅ひ!」と呼び抜けたの

「様うしかつたわ一番高い何で」と語った。なは直子さんは過げる「弁杖者」と、食食は1.40条面)と来てゐたが考え切つて ひだと思って泣いて進げました「めた交換網膜を探しませて向上がら聞って深いる。

ンと関板を振つ場つてサッサと「「何度だ、何底だ」と叫んで

|踊り一緒に大利町皆語寺期山へ||粉を描いてゐた洋子さんたちが大

るよ

木曾路の旅笠

河部五郎主法

より

プルーズ

の佐が結ぶ着人の食用の

蘭討附近に以戦 國獲(航空)製

と東城府では此ば を行ひ一分間の歌

京城府の行事

関幕大名王前並生れが単変世の単一を従らして追称後してゐたのを古して囲れてゐる所を發見して流跡、蜀葉郷較人も響頼なので自分の食して流が、蜀葉郷較人も響頼なので自分の食

がたく故琅中、去月十五日朝京城一秀字さんつら比解人をその空家

満人と警官に数はる

七十一名珠敷つなぎ

水縣河内都豊窓村大地五谷六〇四 は前間移民の観察とあるが映田帯 なりました。とい道なが一道よつ 後七時四十分頃率天鐘盛山

一項日本海の風ん中で飛込み自殺

服务名物には遊戯の目的一なつたことが疑念だ。色々厄介に

るつもりであつたが反對の結果に

初めてである

次程「私けあちらに行く、空行す

**列車飛込み** 狂言强盗から

第一〇列軍が宣義粮定州古邑間 列車に觸れる 老人遂に組命

**官人耐興機略の中年齢女の死迹 里行第六四七列軍 (動車) が船橋 | 探信・りをふせた** 七日午後入時四十分頃平濱磯勝湖 泉原原路六丁目十二番地ノニー

學生の自殺

**帰院の申告をなし、警察から叱ら** 層で大成的五〇七年世代の李金氏 | 面生放星本用 ■( m) は同列車に脱 たのをにして闘毛の途、同所を **夏是、双隅の结果平北定州が韓 里寺河川進行中東海道迄安**が江

では欧都内産中の島、去る二十八年前立圏先で連邦した。石庁多少後してふるのを探知した東大門県、礼住所不定石谷米人のと利明七日 最近京規府内に個語者の被抗が城、犯人は廃北原州郡南川面金介里生 **被害敷十人に及ぶ** であるが生命が属、原因は最 は七日朝十時ころ多量の胴型な 四人組の少年 しくじりがあった上妓生に

西大門飛事に逃げされたチンスの出日京城安全町木師競學校開

|一四三町脚工会程度。200日から||著は数十人に及んである|| ||注放ける水のて赤た京海県が町||の治療代を稼いでるたもので抽法に診療を水のて赤た京海県が町||の治療代を稼いでるたもので抽法を

げ自動車

鋸像は高堂裏に拾ていあるので七 ツてゐたがつひにな人は現れず、阿消骸を取りに來るものとハリキ 八日朝傷づける誤悩は一瞬回校の 日軍更から本町景具が扱込の再じ と思ひます、仕方なけれて別生性様にも安心させてやりた

今度は豆タク、自轉車乘り奇禍

ちに現場へ駈けつけ一帶を担査し 職害に本町劉大和町派出所員は直 脳肌に指過傷を負つてゐる。この 京焼飼町一五七郷は南全南高県町本本土等角質で、十五年報頭か一部生れ等角質で、十五年報頭か一部生れ等角質を始め中も ためたが仲が懇く角質も世の中も ためたが仲が懇く角質を表していません。

人が殺見額山暑に届け出た、遺欲

七日使事局送りとなった。四人組リレー式の姿を置いてを

野菜 サラダを

刀で押の二点使へる

てトリ紙

リオン

· 大 公 尚 店 大 公 尚 店

松醫院

召上れ

登樓客の盗み

山生れ中深生(この同名は東西

町班湖企学游方に登樓遊川 型 京城與江道三人四人無職二條好治

在らると

力モ井の デリメック

强力殺虫液

八十トリ

不例びいまく酸脱が用事中 だ。行八日午前三時、ろ京城湖年

七時世分軍皇前衛隊上與回去山線路橫斷失敗 七日午前

庭球トーナメン

劳香無比 人蓄無密

ト・シングルス

流行の優秀品

ののほせにはすぐ

200

數多取揃へて…

一个時のラギオ

ジョエル・マクリー 9200 午前中割引致シマスペパラスタンウィダ 0000

ジョンクロムウエル 監督

込み自殺したものと見られてゐる。一二先では、一手命保險社員水の は正版にひつからつた如く見っ 太平通派出所に突き出し歸かた

中風に

人助けのため<br />
良趣 無代で差 一数日分 上げます



校告 军事情,一

本京皇漢院



#11-21-マヨネーズ

















フンドー 愈々高し あるところ タカの

し 個 <sup>3</sup> の 川 (4 場造醸油醬杉高







がゐるのを平北移動班が檢學

返へすその手で男も切腹

翌満州」 求る人日午前七時十三

列車中でお網

放蕩事務員

浩の二名、火傷一名、鬱息か

田南山前院失韓山第一分談夫 げてゐたもので引和き取職べ中大印】五日十前十時頃是北京は一巻着科十名から約四首風をまきる

| 九られたま、世に用る機分をない | げ大日は威夷官長有万者。 新聞代 | 田路蔵献之の「伯三小」五字法誌「九七二十三年間、辞校現金所に語 | 玄人はだしの脳湖と蘇樹を築き上 | 閲襲が少に金美真宮の「白頭師」

ほしいちやないか、幹部の改育には花に頃ひ月に吟ずる強懐も

老銀杏の怪火

午後一時頃府内大風町四六一鳳山

南門に移され、更に北南守州家庭 止の大正六年成興樹塚に持ち込ま

【大邱】正直な筆風職人

正直な職人

百年を数へ周陽三十六尺高さ十六

作業中の鑛夫五名

次々に墜落や火傷

途端に船がぐらつき坐礁

平北運轉手 試驗合格者

國境を戰慄させて逃亡

可正確認可能可可

八和組回曹

時効一歩前でお繩

# 今度は救助に早變り

ローカーを熱がせんとしたので蛇

教助に早週りし、折極村近を航行

製形が除け患地よりも複数独者の 育世図に邁通すべく後近、膨つて、暗風に乗りもげて蔑水しはじめ屋 に纏み質質順配の質を原す一度牧 先生の斷髮

海戦して一生めて全部や乗させ何野相長と総一同様、断髪することにたった。

(南州) 忠北道福島縣 山海縣 齊に質行

【指別、忠北語では六、七瀬日間

人を継へた話===この素人名権(は一神つてましたとばかり妻さんは死に元山」被母者が教智で見ん事報」ットに手を恐ばせようとした途頭

例の馬統峠の强盗殺人犯

金徳龍ちかく公判

らるが或け乞食連の火遊びからで

皇國臣民誓詞

増加に伴ふ接合相楽もさることが ら会校会の改築論が起つてよるが

床し武將の風流に

不遇の名鐘浮ぶ

咸興聯隊に庭園を築き

| 参加戦福度より出襲して続け込んだ本 | 名を留置取職べ中である | 利明|| 一般が表現の変で落主でいる。 | 名を留置取職べ中である | 利明|| 一般があるだされ | 名を留置取職べ中である | 利明|| 一般が表現を設定しています。 辺内自動車連輌手試験の合称者は 「開発性」この程施行された手北

でところの力がある。これを自 上し個版してもからの間に治って のところの力がある。これを自 上し個版してもからの間に治って のでは別を自然に防災、治療・肝臓な人には認解することなく。

自然の力で治る

常用が肝寒「健腦丸」の野腦薬「健腦丸」の野脳薬「健腦丸」の

玄人探偵はたし 時計をすられた口惜しさに 機智で見事仇討

「松の子首を描んだが惜しくるな人 【成興】府内の開體育期間、 體育會握手 成興體協ご

ところの自然に備つた抗盟

能つて経貨の動物上からも治療」める有力な機能を変数を出したも

消え更に三日には郷次្渡商店の品 野子件かあり、去月十七日も明町 一百八十輪側が終脚にからつたの

章章を終す……そして帯隊で少│の道面『荊羽軒以居の乃太宗章』お前は兵を使つて庭園を改造し、の道面『荊羽軒以居の乃太宗章』大きには他。人で引起げた、竹川大尉「朝鮮園の野城は特に指いた遠名氏は他一人で引起げた、竹川大尉「朝鮮園の野城は特に指いた。

府成立秘史』から「アリラン節』に始まつて長聯隊長の「中支莉」

賑やかな鐘供養

安県選手などは、坂次子の兩方 のボケットに入り切れない些觀 競権の多いこと、前年の期景鉄 【全州】全北武道大心借上途即

長の「都々逸」等々成果名士の際

し熱態態質とろしく軍民一如の供

手短の穏かならね一通が混り取

曾員一萬六千

15成異。元山。 展育、成州、北湾 愛婦咸興支部

大阪に出稼ぎして其の間入りと五一丁虚裂に騙られて我ぞうな担郷を

さへ祭ぼつてゐたが条祭談は去る。と継訟し奠にした匕首を握つて堂して女の道に外れた面白からね戦。二十分景後の膝膊談判中女の膝腕

有田樂を贈り 今はこの通りの元氣

を受けましたところ、肺炎が駆い、治つて元素で唇るから、是非有田て來たものですから、昏厥の終賦、郷が且つて肺臓で魅つて卧たのが

◆なく益々健康で影響にいそしん 其後お歌もしましたが何の興狀 肺病やろくまく炎でお困りの方

京城一新便本局前

詳山駅前過◆

要 安 丸 姚洪·昭 清郎·古田 要 安 丸 姚洪·昭 清郎·古田 西郎·古田 西郎·古田 西郎·古田 在川田 建二烷 五水湖 耳 《发行》 百烯胺加妥耳仁川尼耳激酶剂 日何郑 日元山 日 は頃此 せば中風、卒中を防ぐ近代人の頭腦薬です。

マ健脳丸の綜合療法 先づ……安眠、便通が第一

快き安眠と便通に依り、毒素を一措し、腦を休め、 記憶力を増大し、異から頭腦を明快にする上、

ところが一世結核病のやうな全一肺臓である

不能が

救はれ

る

便温を

THE TE

引<sup>®</sup> き 下<sup>®</sup>

げ

原だまな

明期に

Ù

ħ

商





獨特の深部殺菌力と特殊の消炎鎮痛

ハじわとりと なれれ出した

ヒフの「若返り」は、ホルモン注 ロードホウ

とこは、ヒフに細い筋が、もうはっ 射廿本したって、果して利くか。 だいいち「小じわ」になってゐる これはすでに経験の方もある筈。

きりついてしまってるんだから。 ところが、それが普通の油なや、 そこへ必みてむ油を口るより、他

頭痛。ノーシン

たのに今

病原は仲々根強いが治療法は

發拍。明治學本支店。各百貨店 發質元 東京。項目 ◎ 4 見 景 選 區

治り切らぬ

のヨリワ・ブランデ

多分に湛える國産自職酒

は氣づかず

に方法はないんです。 翌朝、ずる (一に、顔に油が浮いて ついてるだけで、沁みこまない。 るでせら。 例へばコールドを取ってねると、

どんなものか、誰にも分るでせう。 五六回ねると、つるりしてしまう。 は、すべし、になってゐる。 肌の荒れ、艶のなくなったヒッ等 が、このオリーブを内ってねた朝 一と晩ねってねたいけで、ヒフに

但し、船毎に少しより來ないから限りがある。 

高杉商店回漕部 (日杏体東川電話) 1 〇 三番

朝鮮汽船出帆廣告



貯蓄獎勵の奏功

米筋は法然変聚した。 象する世手関係を見る

198

海州區等1100 / 海州區等1100 / 海州區等1100 / 海山 (平 南) / 东西 (平 图) / 东西 (平 图)

Ŧ. · 天安四等一 地源三等一 

店商作源本山

各地正米市児

通岸海府川仁 • 京城府明治町

五景 心一

1111 149 山1 古同 1111 149 日1 日1 149 日1 1

日卸賣物價

京日 加雲物 第100 - 第120 ė

がで推移するの外ないもかの指移でも少しの事でだが、場がら上げ繋ないと云ふば精にも少しの事でだが、

山 上 为 药

一致少性制度素度入域した、野夏

なが海の荒鷲の猛爆に

『論言に極度に復 増援要求を 将何等願みす

蕭山東方爆擊

「石家正八口町四」開助女を取に

50 /

前官整選の衝沙汰

変形で日本文の りませているでは、一大ないますのを経過せし

等額みず一方南洋方面の華僑からは変なる異常の整型場では変するで製し國家のため死力を楽して抗戦せよ』と図答し本つたのみで何致し國家のため死力を楽して抗戦せよ』と図答し本つたのみで何その手が廻らず、只『現存の防備施設をもつて日本軍飛行機と交

をもつて防戰すると豪語してゐるもこれは彼等の一場の夢に過ぎず、

### 派この反目激化 李宗仁を即全に罷免す

の語が異くた」方は中央地域 的地域的方面の語はまる方を 中中の上級域に対し、一般は、音歌などの方面の語はまる方を

(場別数十三十十一)の多大

は飲用を空襲して資東を一般接二後は見客に抵抗する集力な

を地に相乗しかけるもいにきいって 帯域(機道・黄海県のできるが地) 手長に東海学の東域に種職しつつ

金融の日本を東に現けれ、大名文に日子ではりまな時点を吹く替った。 まつからのは野の田が金融に現けれ、大名文に日子ではりまな時点をでくせった。 田 四人のことだらべる最適明三の記されていまれ、日 四人のことだらべる最適明三の記されていまれ、日 四人のことだらべる最適明三の記されていまれ、

れきとたり、茶菜、食養等の提供「岩宮子香田図下、関気速子 KHI 「柴五十五分宮中に多内 天皇陸(東京管証) 松垣屋相比人口子会

で駆ける時何出された、第一日の

一月迄に運輸開始

で金拂ひを要求

ひを喜求したと傳へられ、財政破綻に瀕してゐる國民政府は極度に複複しその善後策に廣【東京支社特電]外電節の情報によれば蘇聯政府は今後支那に供給する軍器品に對し現金拂 今後この問題の成行は注視されてゐる

「上海人日間地」入口遺跡にの第一度所に対しいよく(支援的目間)」を民族したものとして治国されて「のじの明確な概要表明で美术情報に

【ローヤス日間里】 学太利弘等

野代ル語

**戊篇** 小説

徹底を期す

ででは の大型と位 の大型と位 の大型と位 の大型と位

Pie Good

はつ夏の椿

水

少

デ

事質局参觀 年の

川伯村

孝正

即夫常崑

用方地域に於て忠某と版大中の我がOO。OO眼画家も露決前面の数を翻述してOOに同口用商中である

鄭州東方

鄭州。洛陽を爆撃

どうはつたか。

那船舶交通源

【ウルシャ七日南近日 ボーランド

熱心に

三時冊明分「のぞび」で巫婆へ近代選挙少統(入地中八日子後

仕 當

見里……へ

田 萱……てい耽に取入先

治庄野宇・形花の球野業職

一洋戦闘第一のもぶ狙を座王の界派水産年八三

親重藤伊○記斷 縱 古 蒙 新

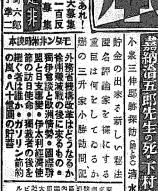
集イリオトス・トオヨシ家作選當

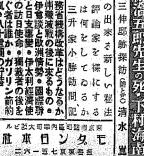


受生理論

る







之が衰面にあつて果然な

### 精神的訓練を强調

情要は中島、

注目される久原氏 指導権を握ぎる肚

めて久原、三土、芳醇、川村、

婦納治五郎先生 雪≧ ★巴里の日本

工方與志はソ聯を脱出した

潜んでゐるとか?

人な一今日出海

ラバタイユより三十年後の日本…が

軍用糧林。如何公外

のがあるか?

戦後の蔣介石は何らか

長期戰下。新聞

は何處

ハンカラー親日家メゼー博士の日本論

前田派の策動 政友總

茲問題の
うら

農林國策の編成替

國際賃借に役立て

家縄原に審異すべき即願政政

ンを牛耳る町人り間の一世の現れる町

中元質出し 頭曲 愛出しに夢中だ!! デバートは中元

外國電報として記述される。 の報道こそ一刻を のだ。 の報道こそ一刻を

黨成立見込み薄で

接戰十三合

本新聞協會

























































2

河血或從軍記

社 秋 容 智三O大七一点

研機、世紀の偉業を悪い見る

間にりはだけにあった「最初取締ち」

一 一 は 何をす か 宛せねばならぬ 関原の山積だ。

**管理法の不能を領く** 環境

ロトノーシムジリーは何を命じ 

回教の全貌と英ソの策動を暴く

夕刊後の市児

支那軍。戰費は未

だどの「おるか?」をに背後の援助したどの「は等の写真は今

日獨連絡飛行とリビア周廻飛行巻

プロプロリートを制破し、旅々婦 四億の回教徒遺は政治的宣要さを握るのだ!! 「東亞と歐洲の複雑な國際情勢の間にあって、」

つたが、ガソリン節動

あらう久しく不逃を取つても

たっただで、母妹英語の开方に

日二十月六

自己 封せられた 見くれて 治益手間を上頭ですることと

那是暗

(形件小説)を東に襲るな様の眼が呼ばられる。生態地学氏の吟歌。

道連れ色珊瑚側前

人としまで、「本野十三人とします」とは、「スパイ小説」。 「スパイ小説」

(明代小説) モデル塩をあてる歌芸歌のこ人、コマンスの地末はり

大瀧凌波

モデルの花嫁
き
持

弓道奉射食

十二日銀行

國防餓金

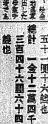
一金一百度也(無武省へ) 一件的图188世 日G1: 一些一百十四回; 15世世 | 李英 | 一同

累計一金四萬六千九十

献金

五圓四十八錢也

果計一金七萬八千二百 **皇軍慰問金** 



熊野御堂不

場

医主吐本

(a)0.6) + 1(b) (b) 4 剪光時上

祭冠の行方は未知數

中央豫選大會十二日に迫る

要食を) を添く 質量性品品

100 作者苦心の材料によって人間近衛のかりかなの演説を質似かりかなの演説を質似

话 資格家

4年至 全甲基苯氏形形的 李田里(世)张清祖等

十冊日是別試合惠行

延事蹴球チー







1111日の記録 原版海中的

▼家庭の屑物再生 岩崎養松

本當に話

(第三話)24、一法 唐愛木 (第三話)4、人、一法 唐愛木 (第三話)4、人、一 法 唐愛木

谷山刑事題

れて、健に前の見える闘事だけ 人が出て來て朝を眺かさらと言

と音ふの据だ無理だことが多く結

ったいでありませう、其後も色々

ませら、今より一干九百年前日 らとれを頼はない者はないであ 人の此帝説を充っために外な

大粒で甘味も多く美味しい極気で

田歯が別込み、受日が普通に成つ **音楽が昔から有る事に依つても** ことが昔から美人の重要な條件 アングルの優れた所は卵の収み合 あります、此版に於て其後十年色 の從職物の様に成つて了つた底が 心に残べ過ぎ頭や斑や頭なぞは胸

◇矯正の設選史◇

彼の数へは歌に一直一光明

上門域は単に費列額正の問題はか 外銭でも爪砂せねばならぬかと管

快活に成る者を膨み見かける時期「ずる大多であります」つた後十つかり以前と舞って明朗」も戦へて舞いたことで

も收へて無駄なことではないと信 現代矯正局の立場より発明するの

命る

それ故これ等の質問に對して一々

味覚をそゝり始めた

のだとの根定を述って、誰れのして正い機み合せとはこんでも たのであります

はあると考へるより物を咀嚼すりではなく、敷形外科方面でも可るためにあると考へるより物なして、成り削縮の概であります。前者のようないの場に最は依然があります。方法のはあると考りなうなのが発症であったものであります。初時的と同ります。多方と同じなどの場であります。初時のと同じなどの方を正して物と関える。すり後者の場合は制御的側線を加齢であります。初時のと同じなどの方を正していました。

が報合取得と言く報作と可要認 して実ため耐熱気機とどの予動してあるを主動にそのが気然であ、したものであります、第へが一緒に成りてそ、4のは単著は強制力に外型を毎にの歌正単行をが第1月リックの歌正単行を必ず・1月リックの歌正単行を必ず・1月リックの歌正単行を必ず・1月リックの歌正単行を必ず・1月リックの歌正単行を必ず・1月リックの歌正単行を必ず・1月リックの歌正単行を必ず・1月リックの歌正単行を必ず・1月リックを

京城歯専助教授

[<u>+</u>]

のであります。現代処正學が著

本雄化して来たのも此原因に

現在一般に新女せられて居る和其政風級に陥くのであります。まずために郷正部間家も関ムて

觀戰記

一瓣 四端 下級 飯塚御一郎

態の進步が急致であり

収々に其診断が難しく成つて來た

合を考へず個人々々に適梱した正 聞く合せの恢復には現代でオテン

王 华

ルの様な似定の正しい一の軸 い場合を整へるのであります。

新鮮な夏の果物

向城潜たく顔形をよくするのが第 一致でありましたために前に検並 までは原質の暗み合せなぞには一

> で引き綴言城べられる共品で、元 関と行もよいのが出来ます、選挙メー、カーターなどの種類があり 栽協しか用來言せんから、節段は一ますが、就中へネジューメロンは 八月は果物の黄金期

もしき子が、用盛りには、質です 関位になります風コールマンとい を福知もぼつ ( 田庭つ に来ます はりは相當所く官な三回の五個 メロンと西瓜ースロンは りには百多一圓五、六十銭位、西 具持ちがする 畏弱が あり、田盛

今が一番美味しいときで、六十月三酸柑、オレンチニ記 水に弱いス・フの は杭州の財を持つてるます。今

上手なお洗濯法

٥

の治徹に失敗されたお話を含くま 目はれて子が、それは神殿と歌い一るしたりしますと、形も聞ひさ子 天だのにたて糸がいた人だとよくりのものを引きあげた機に挙につ よこ系が切れたとか、よこ来は丈一ひどく混はないことです。ホワか て、たて来はどうも辿りないのに ス・フ製品も相信使はれてふるもっることを忘れないことです。しか 人報やス・フ語を行の鉄いは水に いだと思ひます、御承知いやらに ですか、最近よくス・フャ人般し人様やフ・フは水に弱い反面に いことですから、成るべく手早 京城李寅紫 石村キクミ先生談 人部川の石榴がボットし食田され し、倫財に賜くなることを忘れて あるのですから永く水につけて、 は、垢がずつと落ちやすい長所が てるるやうですが、勢通の石鹸で けません、光温石織もス・フ、

我ら眼でも眼足りなくなり、哲 場く、頭ボ、肥協力が減退時間は 場く、頭ボ、肥協力が減退時間は 現の場合を表する。 三 紙 母恩く血色なく心身が非常に我 种經衰弱? 上病院

要する万安全かと思されずす然し之際要が原法は登時に就る

得らしい

**金魚は苦心して冬を超させるとってゐます、今まで持つてゐたますので、一つ始めようかと思** す、巻とけいふにね……。もう一部の中で一羽帯しく鳴いてゐま。最近略の方が死んで今では雄が 歳だと思ひ

・・・外に身 人の子供が骨大好きですから、がやけなく 『でも生き物は私はじめ婆と四に行ってし といすこの處本ロリズム・ 北郷として韓及『カルシウム』類 かりまうが利根が除かれたと思さ して異素類・経度類・膨緩剤・強 けて治うといよ事は一時に日本版 りもす。 内臓薬としては拡胀剤と は毎度の様に思いれまう。 導をつ 適當の樹菜食師を掘ることも必要【格】

のやうな類も文第にくづれて来る

物の話になるとその間接そのもの

の類山郷治氏、現金にもので生き

物デバートクの異名をとつた三起

言語ならなんでもこうれれとう出

三蛇 築山秀治氏

我が家

0)

仲好

(3)

原法けないでしょうか(心即生) 然し之帝楽猟病法は唇師に就たなる原因かと思ひます一番よい 然し之帝楽猟病法は唇師に就た明して居ります、房本過度が主 ペルマチン』帝が用ひられます明して居ります、房本過度が主

聴し何は登山政は極々の遊皮に迎 動聲排の如きも良効があります。 農職・華鉄等に如三角線的作業に ことが必要で其の他精神過度を避 ては先の原因として表ふべき疾病 り間は精弾的作業を脱して開西、 【答】神経な説記の娘法とし

ノラシを使ふか、つかな流ひにすっ

前に一義領貨位のの随他がで 二三日の後二ヶ所に口があき前に一錢請貨位めの随物がで

三浦 博士

後用は勿論戒めねばならぬのであ。贈れて來て破れて過が出たとう でありますが酒、煙草、動堆原に、病気の初めから火して縦ぐも無

【第七局】(開は八五七派迄の周酉)

步 ・野風の五三歩で閉覧の、皆然過ぎる野県長

と重ねてやし大きく替て、

に重きを置いてみるのであっます

且の部分にキャベッの黄を三枚は

立が出來て飛くてたまらたい時は

を治すと称へても良いのでありま す奥野的意義を考ふるよりこれに 策でありまず斯る場合は外観を治 何に其消酔的影響が多いか踊く大

ハイキングなどに行つて、足に

足の豆にキャベツ

「ると云った猫、私持が失切

水澤氏得意の猛攻

て攻め切るや

で数手を招いた。 最も大切な成 方が無い。 優りに大四戦取りの歳して此の狂災が改功するや、沼治・宇を壮した後、赤縄氏ですかきず てあたが、動局大四戦成りの歳して此の狂災が改功するや、沼治では長いない。 別人は、一日本二のと至手を掛けても、永一と非に明日を持た。 男人書待してある。 男人書待してある。 男人書待してある。 男人書待してある。 男人書待してある。 男人書待してある。

お顔か見違へる程美しくなる!

柑は三月頃から出てゐますが、一六、七十錢の高値になるだらうと一アスが分盛んに田逃つてゐます。 班分が多く、皮ともに頂けるのが一思はれます。それで省分はレモン 果肉がよくしまつてんて、節切れ チュースなどは飲めたくなるわけよく、一箇三十五類位です、 臨くの呼が残さな

> 皆クリンシンです 歐米婦人の洗顔は

林橋一根梅には、いま恋地くなが経際で、コリくしてぬま 各一すが、脚が保ちのよい種類です、 一滴五十五位

をもつて るるのでよろ こばれてる

報徴です。オレンデは日向照相と

会びますが、三賢相と向じく六











美しさを増す! 学に素晴しい新工夫!

▲「複合粒子」の自粉は何放時別に美しく附くかし

大きで自然はキュが細い難し、と言はれたものです。 の作用によるのです。また例けてから時間が独つ器一層美しさを増す事々の楽明し、化粧が乳は 皮い事、また例けてから時間が独つ器一層美しさを増す事々の楽明し、化粧が乳を 皮い事、また例けてから時間が独つ器一層美しさを増す事々の楽明し、化粧が乳が 皮い事、また例けてから時間が独つ器一層美しさを増す事々の楽明し、化粧が乳が ない事、また例けてから時間が独つ器一層美しさを増す事々の楽明し、化粧が乳が しい事、また例はないますに、単位を増す。

8-115

溫肌白 肌 色色色



では来の定額などでは同じ 音いたが、中での鬼淫くにもこれではなどでは同じ 音でもスツキリとの鬼淫くにもこれできるでもスツキリとの私

(1)洗顔クリームの

(2)榮養クリームの

(の作用!

一明色クリンシンで流曲しまれた。 たん机下なしに、ユグに水 自体でも、また附口粉を つけても、どのお化粧下を使つ たよりも一種美しいフヤのある お化粧下が用液ます。

最 シ Ĭ. 2 美容法 流行 0)

歐

米で

IJ

1

とても變しくなる 人浴美容施

大寸の1.4、その様ではからケビ型 たがになっている。これではついっては耐からケビ型 たがにはついているのでは対してあると、得気の がいた時分がまでからケングの吸 がいた時分がまでからケングの吸 がいた時分がまでからケングの吸 がいた時分がまでからアクビ型 をおくまでものコンと同様にしてを持つ中 をおくまでものコンと可様にはさとります。 明られてはついないでのでは可かな がにはして、なきから、表明からしる時にか がかったりでは同かない。

露晴しい効果の 睡眠美容法

で好き、放送間に、明白タリンシンを調からが「水が配け、明白タリンシンを調からが「水が配けが円をするであった。
 さったのです。大きたのでは、明白タリンシンを調査になります。大社にこのター、上面荷の優が比欠りたける。大社にこのが、「なが配けが用で可能に減さしかが配けが用です。大社にこのター、上面荷の優が比欠りたける。
 であってのる間に投資の定が上がよりの分からである。

【清州】忠北道民食でに來る十四

忠北當局で

臓を飲

**金鮮に魁けて忠北に結成** 

# 必若戦鍊の實踐を目指す

稼談が纏まつた娘

**尿城驛で姿を消す** 

咸興驛前の旅舘にゐると

郷里から謎

忠北署長會議延期

一旦午後一時から郷一

道當局の態度決る

斷乎として處罰

置の陳情 永同支廳設

平壤山手小學校のお家騒動

被害既に六百餘町歩に及ぶ

され十日頃から共販を開始のけず

優秀タンタ

永同は十日頃開始

日の水揚高質に五萬尾

·大活躍

當局は追播に大童

官吏の貯金

壯烈な戦死

大邱出身の三勇士

究のひに完成

U,O. 598

图 鳴色黑船崩出机

前鮮納谷府命令抗路

男子の淋漓が容易に全治しない理由は、尿道口から感染した

百萬圓浮かす

忠北の貯蓄ご備荒貯穀

各郡の豫定額決定

で益々名齾を高めつゝある。 (ガールが發表さるゝや、各方面に於て が、現在にては各大學病) 対力を認識され、現在にては各大學病

**党を依囑し、多年渡心の幼果べつひに難見された談することが、先決問題と討はねばならぬ。 様蛇的に金清せしむる方法としては、何よりも先** 

かとまで軽ふに到るのである。または飲噌の都度、敢は時候の懸り目毎に再登のへ、これを長期間にわたつて閻魔したとても、何勢

**「題に對する殺協力は極めて機器である。」** 「人、洗稿模等は、その作用が一国わづか數分にす 「決策の作用はあるが、この滞在採園までも負債

一巻入して、といを繁殖地帯とするからの表面を喰ひ荒してゐるが、次年に尿

日英米佛

法特許

四個部川州 大理市 常田商會 城群州明 八坪店 北鮮 面聯 租 一三番

合して粉末とし、此の粉末は直ちに溶解し力なる深峰性を有する色素とを化學的にし、角質大なる新食見の銀幣と、尿道钴膜にしつウラルゴールとは、淋菌に對し殺菌力が

分布常者し、そのまゝ徐々に溶解浸測し一遊の帰かによつて却つて尿道粘膜の全面切れて、三分にて外部へ流出する事なく溶解し、内容は粉末なるが故に、注入薬

の管を尿道内へ入れると、外管は直ち

細き皆中に入れてある。

一年する淋菌まで殺菌するのである。 いっる淋菌は勿論、結談の側管及び深層・深適の兩作用をついけ、尿道粘膜の変

巨大阪商品派与死

一本にて敷時間にわたり間斷なく殺

会議等が、大連大の場合、 なアリネが・単純、空内は神迹の なアリネが・単純、空内は神迹の なアリスが・単純、空内は神迹の 神具和神具は明白が 神具和神具は明白が

躍進に躍進を重ね

·成された淋病の新治療法である。 ・丸の新發明假値にて、本邦に於て始め にてれは他の淋漓築と相違するウラル

適

應症

防止するのである。

|淋締を消失し、短期治療に炎效し、再物の1、変年にわたる慢性淋疾と雖もいに於て、感染早期は勿論のこと、た

長音を使用されたし。 窓性か、或は敷牟、十数年の 悪性か、或は敷牟、十数年の

**平野を使用されたし。 歌初に短蕾を使用し、吹ぎに 歴性、或は再顧性の患者には** 関邦されたし。

の種類と價格 カバー的 〇円七五

されたし。 等の危險と不安なし~用法は頗る簡單安全~ **一円00 三田00** 田田田 

電話本局長 | 01110

の頻繁、叉は申奪、或は長裔と一本にて三時間より六時間)一本値かに二、三分)日一本値がに二、三分)

て資源す) (り代金引換にても直ちに衰退す。, にあり。もし品別れの地は直接費 

新日日 (京山)中村 安州之中村 回作学品汽品学到后

友田合資會社 東京市日本橋區本町三ノー 振春口座·東京·一九三八龍岳日本橋(記) 52 - 岩

寶元 

代理店 野口商會



坡府衛生職ではま、ろい諸核戦をふ、れをわれたコンク戦運動に呼越し京、に常報を吐いて恋。し、下部を総官入戦運動に呼越し京、に常報を吐いて恋。し、下部を総官入議院といいて歌いた。

異の四ヶ所に接端。 國民の保護が第一致防デーに府内目、判明、続後報回は

更に進んで所職衛 相急付ける計量を 進めてゆる、なほ がよりまる計量を

物局に戻き、解へ開く人々数つたと云ふ美術が本所 政党の上司を部下の輸血で

情の説明や朝鮮人問題に對し、

下の派遣具介護に列席し、上海事

**庫を取つた本府
事物官原田大六氏** 

内に〇郡山散を送り込んだ、三回

六ノ二二菜銀行支配人尹浩仰氏二 【既報】=自殺を聞つた京姚郎路

くり上げ、郷光の原田都部官の世

ドット末に打ち倒れた、河流かか

月廿日の結核 り撒いて ること

痰壺を備

結核豫防に萬全の策

京地の主な電車乗換場に

出六千個の札束を言んまと詐取る 日格な酢病に引掛けられて現金一 室を舞台に忠南天安郡安昌植

同野の残職と共に初夏の若へ話題を投げて店町を舞臺に手も切れさらな一萬六千回の

志町を舞響に手も切れさうた一次六子頭の札束を詐取したのが運の過ぎで六日後側路路へ検察、今ときそんた術が流行もものかと文日、又は微型り進中を攻に挽いては全鮮を政に想す...代で世茂順といって全学課してあた物後い野耕師製子が京銀の眞中、縣

にしてみせるわしは半島の名刺。海印寺・で萬有遺金術をこのほど習得、この世に御目見得したい

退職に男でござると無知

干二百五十四在昨坂远走、全州祭

から指名手配されるや松在根と昨

機能令忌避者は

太田

| 1.1 | 1.2 | 1.2 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1. 上げられるといる戦を聞きこ分等の特易も軍に遏御的に貫 於城(Ca)情

部「般告が改数合が出る際と なないと抗辯したが大徳院様であるから選反に関はれる課 に馬の翼翼行為をなしたもの 一展判長係で無理の結果この 当自分にも及ぶべきことを

動し、八日本地で活動中の海に勇 生活を綴けてゐるが、密得其一次 - 食品を獄中に受取った 重節犯法難一傷水英の誠心こもる財間概 に勇士の及い贈物に終然。正

之に領徴せしめるこ **釈問状及金良を贈り回人** 

南總督から感謝狀



一何でも來い!氣合一つで金にする

月還金術を看板に

親子二代で三十萬圓を詐取

荻原課長急行す

|・東部件の原因は目下鉄ボ網空中で | 現場に向つた|
攻嶋日間黄鶴川での列車開燈岸ボ | 原席特膜技が

### 株屋

人の捜査に努めた結果研究と

周則に違する事を自自、保官とじ

近位前の本家はその親爺で、 親か

これまた作戦前科二個の場か者で

三萬箇を募金

で披露するため三萬節の見がご弟 国際間袋の歌集を行ふことにな 格ひ、鍼後國民としての結節 の真意理は益々今後の第万に 不能が男を調べようとうると矢 に通び出すので統
聞の上捕へ 一時二月府內眼底町四六類其社会

部下が赤心の輸血

本府警務局に吹いた美談

| 員とタイピストの掘川愛子さん(

自殺學生紀命

たく、保安郷の非宗殿、郡山原

との就を求めて探し題つた、在つ

で強ねて臭いと思ってした京城市

戦町六四四間イリさんばその観賞 土江さん「こ」を相手取つて「この 女は私の娘ではありません」と歌 |組の運命の子を主人公とする他||呼び興味ある裁判を聞いたが、 事件は原告の主張するところに

達者なチン 稼いだり!千六百回 ピラ

(金のためには後十別係も断た5|方法院に抵起し八日子後二時級2) の前 親子もあらばこそ 質母だといふ谷口ヒメコル融人に 法廷に展げられた哀しき争ひ



百周)の微雄作戦を働いてある取したのを手初めに数す件(1

り八日午後六時から館山小樹校々庭で山名分所長、 呼ば二十百から開始されるが、早くも各権軍分がでは現行 時間點呼の豫行演習

軍艦『長門』の参観

山間に向つた(将属は当時體上区開に乗載を許し五月候流港収売額 **展表的は一般影響が脱れるために** 李陽下海の軍事思想者及のため軍

単語に繋ばれてゐる京城府単大映

ソリンの消費節約の見地から京 | 月から底上寅庵の運びとなったガ | びガソリン部輪の模様に

ソリン切符制度にほみ、目下全国

國策の線に沿ひ京電で考慮

**發疹**チフス續出

市が府内基本町主来情心回るに

忍込み捕る

计传出记录

學友映畵音を改組

機災で取調べを開始した 行を求め市内基所に留政、 延再職康部

由署長臨場の下に軍」回鉄行観客を行う、元県に教練・リ

經濟 門 學校開發問 計解的氏 | 子名は士二日午後|| 時十分内地 **向ひ口生出日年前七時工二分詞** 

で夫婦神論の上、苦心して透べ一して証明者を取べることになった

國際列車荒

餘罪績々ご現はる

腹つてるたちのでなけ無罪が用

能に来た歴英倫技身したのでも 郷ガ氏ホート金価吾方 2二天用

戯問の人形部超過八日から

內部日年的工長

留置以

一教解に名刺を作り 優かれ、李月植に本年三月で

質明監理:小林商店圖書部

**分一地圖**東隊教科

原取集 手切人 具小腿

大间 **入思停定型工阀** ・ 中角触情、川順底三ケ月切内三塊膨ブモノ、右航子裏・「中部型」(平角触情、海体(山脈同三ケ月以内三作列ノモノ)、「平 和 十 三 年 六 月 十 六 日 迄 四 和 十 三 年 六 月 十 六 日 迄 1 数 和 都 第 一 郡 年 一 約 八 ○ 名 数 山 勘 科 第 一 郡 年 一 約 八 ○ 名数 山 勘 科 第 一 郡 年

「中で大きなのでは、 のでは、 のでは

斯普曼作場所 試 強 日 割 聯科 上台西 入 瓤 Œ

と全加入者に並供を送つた 間しみ電話光機を守りませう 鮮鐵從事員の貯金 の時局認識が全員に徹底し数

に京城中央電話局では「真二千百

一明な諸君の選ぶ良薬

を開発した。 のでは、 ので

對鐵道決勝戰

| 去月來土田雅郎を西下せ」め大阪|

のメスを扱う聲点響接近一種では

|天阪記話||電子川県に加し川大

置部競行 見替さんで送量す の名食は品店にあり スガ ラパスア 0

朗かな良卓 店商七精炼伊 

学院報集第一「元大〇番 学院報集第一」が二十九億以上の 一十九十九億以上の 一十九億以上の 特別案內

店員採用

等二層類大體

経に抵別五

燃機關

花柳病專門 

鼻

京日安公

悪の

等金 选《自然:据以中心。

タ リーヤンデアー 終史會成 関井町本植電本(2)四四版版 関井町本植電本(2)四四版版版 明治町安古電本(2)四七九七番 田大部十年年前立、1)三三四〇番

電話日本橋區吳服隨三十七〇一番 觀 觀 翳 麋 京 碧 響 所

名階店デパートにあり

電話本一八三二番院

十六、上版の少年間の共在地へ

爽かな風味

